

BCP（事業継続計画）について

BCP(事業継続計画)とは？

BCP (Business Continuity Plan=事業継続計画) とは、企業が自然災害、テロ攻撃、新型インフルエンザの大流行などの緊急事態に遭遇した際に、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続・早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを決めておく計画のことです。

災害時の人命救助および物的被害対策を中心とした従来の防災計画と違い、緊急事態に直面した際の事業継続を目的としている点が BCP の特徴です。

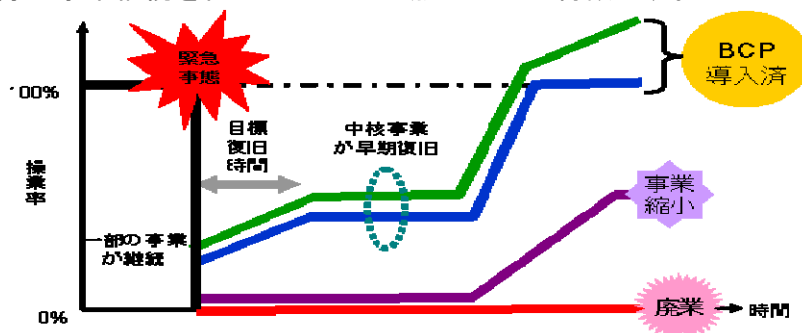


図 企業の事業復旧に対する BCP 導入効果のイメージ（出典：中小企業庁 HP）

BCP 策定のメリットは何？

- ・ 自社の事業見直しが図れます。
BCP 策定の中で、優先すべき業務の絞り込みや、経営資源の状況を再確認することで、事業の見直しを行うことができます。
- ・ 重要業務の早期復旧が図れます。
早期復旧することで、マーケットシェアと企業評価の低下を防ぎます。
- ・ 企業価値の向上が図れます。
緊急事態への対策が取られている企業として取引先や新規取引開拓時の信頼が高まります。

BCP の詳細を確認したい

緊急時の経営被害を最小限に抑えるため、平常時から BCP を策定しておくことが重要です。BCP 策定については、国、県から運用指針等が公表されています。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

中小企業庁	中小企業BCP策定運用指針
長野県	BCP(事業継続計画)策定への手引について